920MHz帯 無線ユニット [Ethernetタイプ]

設定用ユーティリティ (SWL-UT)

ユーザーズマニュアル (対象ユーティリティ:SWL-UT3 Ver4.00)

このたびは、当社の 920MHz 帯無線ユニット[Ethernet タイプ] (以下:無線ユニット)をお買い 上げいただき誠にありがとうございます。

無線ユニットを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、 無線ユニットの機能・性能を十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

- ご注意 -

- 1. 許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。
- 2. 記載事項は、お断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
- 3. 本製品は、国内電波法にもとづく仕様となっておりますので、日本国外では使用しない でください。



◆ 使用上のご注意

- パラメータ書込み中は下記内容にご注意ください。故障の原因となります。
 - ・無線ユニットの電源を切らない。
 - ・USB ケーブルを抜くなど、パソコンと無線ユニットの通信を切断しない。
- 接続する USB ポートを変更すると、ドライバの再インストールが必要になります。
- パラメータには親局/子局からしか読みだせないパラメータがあります。
 実機からパラメータを読出して、別ユニットへの書込みに使用する際は、システム全ての親局/子局から
 パラメータの読出しを行ってください。
- パソコンに複数の無線ユニットを接続しないでください。

◆ ソフトウェアバージョン対応表

下表に無線ユニット親局、子局と設定ユーティリティの SW Ver 組合せ表を記載します。

ご購入頂いたユニットの形名及び、ソフトウェアバージョンを確認して設定ユーティリティを選択してください。 なお、本マニュアルは<u>無線親局 SWL90-ETMC(SW Ver.4.**)</u>、<u>無線子局 SWL90-R4ML(SW Ver.4.**)</u>、<u>n[°] ルカウント子局</u> SWL90-PL3(SW Ver.1.**)、及び設定ユーティリティ SWL-UT3(SW Ver.4.**)が対象になります。

		親局 [SWL90-ETMC]			接続対象子局					
					入出力子局 [SWL90-R4ML]			パルスカウント子局 [SWL90-PL3]		
		Ver4.**	Ver3.**	Ver2.**	Ver1.**	Ver4.**	Ver3.**	Ver2.**	Ver1.**	Ver1.**
	Ver4.**	0	0	×	×	0	0	×	×	0
設定ユーティリティ 「SWI-UT3]	Ver2.**	×	0	×	×	×	0	×	×	0
[0.12 0.10]	Ver1.**	×	×	0	×	×	×	0	×	-
設定ユーティリティ [SWL-UT1]		×	×	×	0	×	×	×	0	_

無線ユニット親局、子局と設定ユーティリティの SW Ver 組合せ表

O:設定変更可 ×:設定不可 -:非対象

※親局、子局のSW Verを、上記組合せ以外でご使用の場合は、ユニット押しボタン操作にて パラメータ設定を行う必要があります。

詳細は、本ユーザーズマニュアルに記載のお問い合わせ場所にご確認ください。 ※**には 00~99 の値が入ります。



使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A-1
ソフトウェアバージョン対応表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A-1

第11	章 概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.1.	概要
1. 2.	免責事項 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.3.	動作環境 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.4.	ファイル構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第2章	훝 使用準備 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2.1.	ドライバのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-2
2. 2.	設定ユーティリティの起動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.3.	ウィザード画面 ・・・・・・ 2-6
2.4.	設定ユーティリティの終了 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 5.	. Net FrameWork のインストール ······ 2-8

第3章	፪ 使用方法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3.1.	設定ユーティリティ使用手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 1	.1. 設定書込み手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 1	.2. 設定データの読出し手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 1	.3. 既設システムに子局追加・・・・・・
3. 1	.4. パラメータ無線配信機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 2.	無線ユニットの設定データを作成する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 3.	親局に設定データの書込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.4.	USB 接続による子局書込み ····································
3.5.	子局通信確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.6.	子局無線書込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.7.	設定ファイルを保存する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 8.	保存した設定ファイルを読み出す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.9.	親局から設定データを読み出す・・・・・・ 3-21
3. 10.	子局から設定データを読み出す・・・・・ 3-23
3.11.	設定ユーティリティの設定内容を初期化する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第4章	画面詳細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4.1. 起重	カ画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4.2. メイ	′ン画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4. 2. 1.	共通設定	
4. 2. 2.	自局設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

4.3. Ethernet 設定画面 ·········· 4-7
4.3.1. Ethernet 無線親局設定画面 ······ 4-7
4.3.2. Ethernet 相手局設定画面 ······ 4-8
4.4. ルート設定画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.5. パルスカウント設定画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.6. 増設ユニット設定画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.6.1. 増設設定画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.6.2. アナログ Ch 設定画面 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4.7. 個別設定画面(ポーリング通信設定項目) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4.7.1. 親局[SWL90-ETMC] 個別設定画面(ポーリング通信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.7.2. 子局[SWL90-R4ML] 個別設定画面(ポーリング通信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.7.3. 子局[SWL90-PL3] 個別設定画面 (ポーリング通信) ····································
4.8. 個別設定画面 (トランジェント通信設定項目)
4.8.1. 子局[SWL90-ETMC] 個別設定画面(トランジェント通信)4-17
4.8.2. 子局[SWL90-R4ML] 個別設定画面(トランジェント通信)4-18
4.8.3. 子局[SWL90-TH1(E)] 個別設定画面(トランジェント通信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-19
4.8.4. 子局[SWL90-PL3](中継局兼子局) 個別設定画面(トランジェント通信)・・・・・・・・・・・ 4-20
4.8.5. 子局[SWL90-PL3](子局) 個別設定画面(トランジェント通信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-21
4.9. デバイス一覧画面・・・・・・ 4-22
4.10. ヘルプ機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.11. 付録
4.11.1. 無線配信で子局の無線パラメータ(周波数、グループ、通信トポロジ)を変更する手順・・・・・ 4-25
4.11.2. 接続 COM ポート確認手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.11.3. ドライバの手動インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-30
4.11.4. ドライバをインストールできない場合のセキュリティ解除方法(Windows10)・・・・・・・・・ 4-35
第5草 トフフルジューティンク・・・・・・5-1
5.1. トラフルシューティング······ 5-2



第1章 概要

1.1.	概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1–2
1. 2.	免責事項 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1–2
1. 3.	動作環境 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1–2
1.4.	ファイルの構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1–3

1.1. 概要

設定ユーティリティ (SWL-UT3) は当社製 920MHz 帯無線ユニット専用設定ユーティリティです。

※対応無線ユニットは A-1 ページの「ソフトウェアバージョン対応表」をご参照ください。

本マニュアルには、設定ユーティリティ(SWL-UT3)のパソコンとの接続方法及び各画面についての説明を記載 しております。

無線ユニット本体に関する事項もございます為、『920MHz帯 無線ユニット[Ethernet タイプ] ユーザーズマニュアル(詳細編)』を併せてご参照ください。

1.2. 免責事項

設定ユーティリティ(SWL-UT3)を使用して設定を行なった無線ユニットの設定内容及びデータ、接続機器の誤作動等 については一切の責任を負いません。

1.3. 動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

項番	項目	仕様	備考
1	CPU	Pentium 1.7GHz 以上	-
2	OS	Windows 7、10	-
3	ハードディスク容量	20MByte	-
4	必要メモリ容量	Windows7、10:1GB 以上(推奨)	-
5	ディスプレイ解像度	1024×768 以上 6 万色以上推奨	-
6	必要ケーブル	USB ケーブル(mini-B)	-
7	その他環境	.net Framewarks3.5 [%]	-

※インストールされていない場合は Microsoft 社のホームページよりダウンロードしてください。

ダウンロードファイルを解凍すると以下のようなファイル構成となっております。

起動ファイル





第2章 使用準備

2.1 ドライバのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2–2
2.2 設定ユーティリティの起動・・・・・・・・・・・・・・・	2–5
2.3 ウィザード画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2–6
2.4 設定ユーティリティの終了・・・・・・・・・・・・・・・	2–8
2.5.Net Framework のインストール ・・・・・・・・・・・	2–8

パソコンに設定ユーティリティ用のドライバをインストールします。

(1) ダウンロードしたフォルダの「Driver」⇒「ETMC」⇒「32bit」or「64bit」⇒「DrvInst.exe」を起動します。

無線機	ドライバインス	.Þ-Э
無約	泉機ドライハ	(のインストールを開始します
1	ンストールする	ドライバを選択して下さい -ETMC/R4ML ドライバ
	.inf ファイル	CDC_Driver_ETMC_R4ML.inf
	SWL90	-PL3 ドライバ
	.infファイル	CDC_Driver_PL3.inf
		前へ 次へ キャンセル

(2)「次へ」ボタンをクリックすると確認画面が表示されます。

無線機ドライバインストーラ	 X
無線機ドライバのインストールを開始します	
以下のインストールを実施します	
SWL90-ETMC/R4ML ドライバ (CDC_Driver_ETMC_R4ML.inf) SWL90-PL3 ドライバ (CDC_Driver_PL3.inf)	
前へ開始	キャンセル

(3) インストールボタンをクリックするとドライバインストールウィザードが表示されます。



(4)「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。以下のような画面が表示されますが、 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックしてください。



(5) ドライバソフトウェアをインストール中、以下の画面が表示されますので、

インストール完了するまでお待ちください。

無線機ドライバのインストール
ドライバのインストールが終わるまでお待ちください。
します。 ドライバをインストールしています。しばらくお待ちください。 完了するまでに時間がかかることがあり ます。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(6) 以下のような画面が表示され、インストールが完了します。「完了」ボタンをクリックします。

無線機ドライバのインストール		
	セットアップ完了	
	ドライバは、正しくこのコンピュータ 今、このコンピュータにデバイスを打 合は、最初に説明書をお読みく?	にインストールされました。 接続できます。デバイス付属の説明書がある場 ださい。
	ドライバ名	状態
	✓ MITSUBISHI ELECTRI ✓ MITSUBISHI ELECTRI	使用できます 使用できます
	(戻る(3 完了 キャンセル

※Windows10で、セキュリティを設定している場合、インストールができない可能性があります。

『ドライバをインストールできない場合のセキュリティ解除方法(Windows10)』をご参照ください。

2.2. 設定ユーティリティの起動

設定ユーティリティは以下の手順で機動/終了を行います。

(1)起動

(a)ドライバをインストールしたら、設定ユーティリティを起動します。

ダウンロードしたフォルダ内の「SWLStartUp.exe」をダブルクリックし、設定ユーティリティを起動してください。

(b)設定ユーティリティ起動時、「設定ユーティリティ選択画面」が表示されます。

無線親局:「SWL90-ETMC Ver4.00」を選択してください。

■ 設定ユーティリティ選択画面	
起動する設定ユーティリティを選択します。 使用する無線親局もしくは、起動したい ユーティリティを選択してください。 ◎ 使用する無線親局から選択する	- 使用する無線親局から選択する 「SWL90-ETMC Ver4.00」
SWL90-ETMC Ver4.00	
○ 設定ユーティリティから選択する SWL-UT3 Ver4.00 →	
OK キャンセル	

(c)以下画面が表示されますので、初めての方は「ウィザード画面」を、

詳細な設定を行う時は「メイン画面」を選択ください。



設定ユーティリティ起動後の「画面選択」で「ウィザード画面」ボタンをクリックするとウィザードが起動します。 ※「2.2 設定ユーティリティの起動」参照

無線通信設定や Ethernet 通信設定を対話方式で設定することで、パラメータの設定漏れや誤設定を防ぐことができます。(子局毎の詳細設定は、ウィザード設定後にメイン画面で設定してください。)

🖳 周波数/グループ/子局台数設定	パラメータを選択
 ① ⑦ 間波数/ / /	周波数 33 ▼ CH
↓ ↓	グループNo 0
②通信方式設定	同一エリアで複数セットの920MHを帯無線をご使用の場合は パラメータ説明
↓ ↓	混信防止の為、「周波数」と「グループNo」が重複しないよう
③通信トポロジ設定	
↓ ↓	
④プロトコル設定	パラメータを選択
↓ ↓	
⑤IPアドレス設定	
Ļ	
⑥デバイス種別設定	「 少り少りると / / 次の設定項目
Ļ	に移行する
設定確認	
	次へ キャンセル

(1) 説明を参照し、各パラメータを設定した後、「次へ」ボタンを押してください。

(2)①~⑥の項目を順に設定して、「次へ」ボタンを押してください。

(3)⑥の設定項目を設定すると「設定確認」画面が出ます。

設定に間違いが無ければ「完了」ボタンを押下して設定を確定してください。

🔡 設定確認		the second		×
① 間波数/グループ /子局台数設定 員	以下の設定内容でよ 殳定内容を変更する 殳定を中止する場合	ろしければ、「完了」ボタン 場合は、「戻る」ボタンをり は、「キャンセル」ボタンをり	をクリックしてください。 リックしてください。 リックしてください。	
②通信方式設定	【設定内容】			
	周波数(CH)	33	デバイス種別	
*	グループNo.	0	ビット入力	×1000
③通信トポロジ設定	子局台数(台)	1	ビット出力	Y1000
	通信方式	ポーリング(経路情報なし)	ワード入力	D300
Ļ	通信トポロジ	99 9 -	ワード出力	D600
④プロトコル設定	プロトコル選択	3Eフレーム クライアント	経路情報	D5000
			システム領域書込み	D1000
1	IPアドレス(無線親局)	192, 168, 10, 2	システム領域読出し	D1050
(S)10つだしつ 設守	IPアドレス(相手局)	192,168,10,3		
ULT TO VARAE	サブネットマスク	255,255,255,0]	
↓ ⑥デバイス種別設定				/ クリックすると メイン画面に 移行する
↓ ● 設定確認			戻る 完了	7 +r>tul

(4) ウィザード画面の設定が反映され、メイン画面が表示されます。

各子局の設定をメイン画面で実施してください。

(注) ウィザード画面では全ての設定は完了しません。特にユニット ID は無線通信に必要なパラメータの為 各子局に設定してください。

🖳 SV	VL-UT3 バージョン4.0.0	· · ·				X
$7\pi + J \mathcal{U}(E) - \Lambda \mathcal{U} \mathcal{J}(\underline{H}) - \mathcal{U}(\underline{I})$						
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込 設定初期化						設定初期化
d 2 F	共通設定 リループNa 0 ▼ 無線通信構成 再述回数 2 ♪	ポーリング通信(経路情報なし)	▼	33 ▼ 無線通信トポロジ ツ 最大中継段数 5 子局台数 4	リー ・ 接続方法 : Et ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	hernet 2.168.10.2 TEST
	子局番号	親局	子局1	子局2	子局3	^
	그드ット名		R4ML_1	R4ML_2	R4ML_3	
	SERIAL					
	ユニット名称(ラベル)	親局	子局1	子局2	子局3	
	コニットID					
	ユニットタイプ		SWL90-R4ML(中継局兼子局)	SWL90-R4ML(中維局兼子局)	SWL90-R4ML(中維局兼子局)	SWL90-R4I
•	個別設定	個別態定	個別設定	個別設定	個別設定	
	ビット点数情報	64	16	16	16	-
	ワード点数情報	0	0	0	0	
	Ethernet設定	Ethernet設定				
	ルート設定		ルート設定	ルート設定	ルート設定	
	パルスカウント設定		パルスカウント設定	パルスカウント設定	パルスカウント設定	КЛ
	デバイス割付け一覧	デバイス割付け一覧				
	増設局設定		增設局設定	增設局設定	増設局設定	jt
4	書込み時刻					
	Sheet1					終了

メイン画面からウィザード設定を開く場合

✓ SWL-UT3 ル ジョン4.0.0 ファイル(E) ヘルブ(H) ツール(I ウィザード画面(N) 読出 祭存(S) 聞く(Q) グルーブ№ 0 新線通信構成 両送回数 2 金	 メイン画面の ウィザード画 できます。(注) ファイムから読出 ファ・ ホーリング測量(経路情報なし) 	ツールバーから 面を開くことが)) (4/4書込 、 選択周/波数 33	無線通信 ツリー・ 最大中社(3数) 5 子長女数) 1	武定初期化 議定方法: Ethernet IPアドレス: 192.168.102
子局番号	親局	子局1		接统无道抗
ユニット名	1967-5	R4ML_1		
SERIAL				
ユニット名称(ラベル)	親局	子局1		
ユニットロ				
ユニットタイプ		SWL90-R4ML(中維局兼子局) 💌		
▶ 個別設定	個別設定	個別設定		
ビット点数情報	16	16		
ワード点数情報	0	0		
Ethernet設定	Ethernet設定			
ルト設定		ルート設定		
パルスカウント設定		パルスカウント設定		
デバイス割付け一覧	デバイス割付け一覧			
增設局設定		増設局設定		
書込み時刻				
Sheet1				終了

(注) ウィザード画面を開いた場合、メイン画面の設定が破棄されます。

2.4. 設定ユーティリティの終了

設定ユーティリティのメイン画面右上の「×」ボタンをクリックすると下記のようなダイアログが表示 されます。

現在の入力内容を保存する場合は「はい(Y)」をクリックし、ファイルを保存して終了してください。 保存しない場合は「いいえ(N)」をクリックし、終了してください。



2.5. . Net FrameWork のインストール

.Net Framework 3.5 がインストールされていない場合は起動時にエラーダイアログが表示されます。 以下ダイアログが表示された(必要な.Net Framework が入っていない)場合は、Microsoft社のホームページ より「.Net Framework 3.5」をダウンロードし、インストールしてください。





第3章 使用方法

3.1.	設定ユーティリティ使用手順・・・・・・・・・・・3-2
3. 2.	無線ユニットの設定データを作成する ・・・・・・ 3-6
3.3.	親局に設定データの書込み 3-8
3. 4.	USB 接続による子局書込み ····· 3-11
3. 5.	子局通信確認 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3. 6.	子局無線書込み 3-15
3.7.	設定ファイルを保存する ・・・・・・・・・・・・・・・ 3-19
3. 8.	保存した設定ファイルを読み出す ・・・・・・・ 3-20
3. 9.	親局から設定データを読み出す ・・・・・・・・・ 3-21
3. 10	. 子局から設定データを読み出す ・・・・・・・・ 3-23
3.11	. 設定ユーティリティの設定内容を初期化する・3-26

<u>3.1.1.</u> 設定書込み手順

(1) 設定データ作成

設定ユーティリティにて、無線ユニットに書き込む設定を作成します。 詳細は『3-2 項無線ユニットの設定データを作成する』をご参照ください。



(2) 無線親局とUSB 接続 / Ethernet 接続

無線親局の USB コネクタに USB ケーブルもしくは、Ethernet ケーブルを挿入し、パソコンと接続します。



(3) 無線親局に設定データを書き込む

設定ユーティリティにて作成した設定データを無線親局に書込みます。



(4) 無線子局に USB 経由で設定を書き込む



(5) 無線子局と通信確認(テスト)

無線親局から無線子局に無線通信が可能かテストを行います。



<u>* SWL90-PL3 は USB で直接接続して通信テストします。</u>



(6) 無線親局から無線を経由して無線子局に設定を書込みます。

* SWL90-PL3 は USB で直接接続でしか書込みません。



!!!: 注意事項 !!!



<u>3.1.2.</u> 設定データの読出し手順

親局にすべての設定情報が登録されています。

- 以下の場合は親局から設定データを設定ユーティリティに読出します。
 - ・設定データのバックアップを取得する場合
 - ・親局交換、システム変更時など





<u>3.1.3.</u> 既設システムに子局追加



(4) 追加子局へ設定データの書込み
 追加した子局へ設定を書込みます。
 ※詳細は『3.4項子局無線書込み』をご参照ください。

<u>3.1.4. パラメータ無線配信機能</u>

親局が無線通信で子局にパラメータを送信し、設定を書き換える機能です。
 設定ユーティリティからの書込み指令を行い無線子局にパラメータを送信します。
 対象機種 SWL90-ETMC : Ver4.**、 SWL90-R4ML : Ver4.**

下記のパラメータが親局と子局で一致しなければ、無線配信はできません。

	親局	子局
グループ No.	P103	
通信トポロジ	P106	
選択周波数	P107_CI	
ユニット ID	P2**_Unid	P104

※**は子局番号

無線親局に書込み、読出しを行ってから、子局配信を 行ってください。





3.2. 無線ユニットの設定データを作成する

無線ユニットに書き込む設定データを作成します。

共通設定、親局設定、子局設定を全て行ってから「3.3項 親局に設定データの書込み」と「3.5項 子局無線書込 を行ってください。

各設定の詳細については、「4章 画面詳細」をご参照ください。

85	- SWL-UT3 バージョン4.0.0		A1 8-			
①共通設定項	目 イリレ(E) ヘリレプ(H) ツール	(I)				
	無線機へ書込 無線機から読出	7ァイルから読出 7ァイ	ルヘ書込			設定初期化
	共通設定 グループNa 0 - 無線通信構成 再送回数 2 - 会	【ポーリング通信(経路情報なし)	→ 違択周)波数 [33 ▼ 無線通信トポロジ ツ 最大中維段数 5 子局台数 4	J- ▼ 接続方法 : E IPアドレス : I: 使 接続先選択	themet 92.168.10.2 TEST
	子局番号	親局	子局1	子局2	子局3	^
			R4ML_1	R4ML_2	R4ML_3	
	SERIAL 5于同		\mathbf{n}			
	ユニット名称(ラベル)	親局	子局1	子局2	子局3	
	♪ ユニットID		1	2	3	
	ユニットタイプ		SWL90-R4ML(中継局兼子局) 🔽	SWL90-R4ML(中継局兼子局) 본	SWL90-R4ML(中継局兼子局)	SWL90-R4I
		r				
		個別設定	個別設定	個別設定	個別設定	_
②Ethernet	□	個別設定 64	個別設定 16	個別設定 16	個別設定 16	E
@Ethernet	(周史) 設定項目 ワード点数情報	個別腺定 64 0	個別設定 16 0	@B·暾定 16 0	個別設定 16 0	=
②Ethernet	(国内) 設定項目 ワード点数情報 Ethernet設定	個別爆定 64 0 Ethernet設定	個別設定 16 0	個別設定 16 0	個別順定 16 0	E
@Ethernet	御田 設定項目	(個別環定 64 0 Ethernet設定	(個別機定 16 0 ルート設定	個別版定 16 0 ルート設定	個別服定 16 0 ルート設定	
②Ethernet	(用の)1800年 設定項目 ワード点数情報 Ethernet設定 ルート設定 パルスカウント設定	(圓別錄定 64 0 Ethernet設定	(個明版定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定	(個別版定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定	(個別限定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定	E
②Ethernet	(用空目162年) 設定項目 ワード点数情報 Ethernet設定 ルート設定 パルスカウ/ト設定 デバイス割付け一覧	(個別設定 64 0 Ethernet設定 デバイス割付け一覧	(個別規定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定	(個別限定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定	(個別服定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定]е]ј]/Хл
②Ethernet	(田田)164年 (田田)164年 (日本)164年 (日本)164 (日本)164	(個別版定 64 0 Ethernet設定 デバイス割付け一覧	 (圖・服定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定 増設局設定 	 個別版定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定 増設局設定 	 個別服定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定 増設局設定 	ء رویا رویا رویا رویا
②Ethernet	(田田)1800年 設定項目 ワード点数情報 Ethernet設定 ルート設定 パルスカウト設定 デバイス割付け一覧 増設局設定 書込み時刻1	(個別設定 64 0 Ethernet設定 デバイス割付け一覧	(個唱版定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定 増設局設定 "	 個別限定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定 増設局設定 	 個別服定 16 0 ルート設定 パルスカウント設定 増設局設定 	ع الكار الكار بالكار بالكار

No.	名称	内容	参照項
1	共通設定	無線通信に関して、親局・子局で共通した設定が必要な項目の 設定を行います。	4.2.1項
2	Ethernet 設定	通信プロトコルの選択や Ethernet 通信設定など、 Ethernet 通信に関連する設定を行います。	4.2.3項 4.3項
3	親局設定	無線出力電力量や無線タイムアウト時間の設定など、親局の 設定を行います。	4. 2. 2 項
4	子局設定	ユニット ID や中継ルート設定など、子局の設定を行います。	4.2.2項
5	ユニット ID	子局を判別するため、ユニット毎に割り当てる ID の設定を行 います。	次ページ

子局ユニット ID について

テ担山左哇に

子局本体のユニット ID は工場出荷時には、シリアル No. 上位3桁が設定されています。 子局本体のユニット ID に合わせて設定ユーティリティのユニット ID を記入してください。

子局の定格銘板の	定格銘板
<u>「SERIAL」の上3桁が</u> 無線ユニットのユニットID になります。	920MHz Wireless Unit TYPE SWL90-R4ML 12/24VDC 1.4W SERIAL 12/24VDC 1.4W

無線ユニット



設定ユーティリティ

₽ SWL-UT3 バージョン4.0.0				
$\mathcal{I}_{\mathcal{P}}\mathcal{I}_{\mathcal{H}}(\underline{E}) \land \mathcal{I}_{\mathcal{H}}\mathcal{I}(\underline{H}) \forall -\mathcal{I}_{\mathcal{H}}(\underline{I})$				
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込				
共通設定				
グループNa 0 ▼ 無線通信構成	ポーリング通信(経路情報なし)	▼ 選択周波数 33		
再送回数 2 🚔				
子局番号	親局	子局1		
그드까名		R4ML_1		
SERIAL				
▶ ユニット名称(ラベル)	親局	子局1		
בבשhid	123			
ユニットタイプ		SWL90-R4ML(中維局兼子局) 본 SV		
個別設定	個別設定	個別設定		
ビット 片米かきもの	6/	16		

又は、<u>各子局の本体</u>に任意のユニット ID (例:子局1ユニット ID = 1、子局2ユニット ID = 2 など)を 手動で設定してください。そして、設定ユーティリティのユニット ID に、子局本体に手動設定した ID を入力し てください。

3.3. 親局に設定データの書込み

無線ユニット親局に USB/Ethernet を接続して設定データを書込みます。

【構成イメージ】



- (1) 無線親局とパソコンを USB 接続/Ethernet 接続する。
- (2) メイン画面の右上の「接続先選択」ボタンをクリックして接続先選択画面を表示します。

💀 SWL-UT3 パージョン4	0.0
ファイル(E) ヘルプ(H	ツール(工)
無線機へ書込	泉機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込 設定初期化
共通設定	(2)「接続先選択」をクリックします。
グループNa 🛛 🔻 無	線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし) ▼ 選択問波数 33 ▼ 無線通信トポロジ ジリー ▼ 接続方先 : Ethernet
再送回数 2 🚖	最大中継段数 5 アドレス: 192.168.10.2
	子局台数 4 🗁 接続先選択 TEST

- (3) USB 接続 → 接続方法: USB ポート番号: 自動選択 であることを確認してください。
 - Ethernet 接続 → 接続方法: Ethernet 無線親局の IP アドレスと一致していることを確認してください。

🖳 接続先選択	23
無線ユニットと接続する方法 ^{★ 324-01} - アイボタイン 「USB 接続」を選択します。 ○ Ethernet接続(SWL90-ETING VET4.001∠7年メ1)027]
無線ユーットIPアドレス: 192 「自動選択」選択し	ます。
 ● USB接続 ポート番号: ● 自動選択 	
ОК	キャンセル

USB 書込み



Ethernet 書込み

(4)「無線機への書込」ボタンをクリックし、「無線機へ書込み画面」を表示します。

wL-UT3 /(-ジョン4.0.0		
$\mathcal{D}_{\mathcal{P}} \prec \mathcal{I} \cup \mathcal{L} $ $\mathcal{I} \cup \mathcal{I} \cup$		
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込		設定初期化
グループNa 🖉 🔹 無線通信構成 (ポーリング通信(経路情報なし) 🔹 選択周波数 33 ▾	無線通信トポロジ 🕅 👻	接続方法 : Ethernet
再送回数 💡 🤿	最大中維段数 5 🗸 🗸	IPアドレス : 192.168.10.2
└────── (4)「無線機へ書込」ボタンをクリック	子局台数 4 🚖	接続先選択 TEST

<u>!!! 注意事項 !!!</u>			
親局への書込み時、ユニット ID が入力されていない子局がある場合、下記のようなダイアログが表示されます。			
自動で入力する場合は、子局番号がユニット ID になります。また、パラメータ無線配信機能を使用する場合、			
子局本体のユニット ID を自動で入力された設定ユーティリティの値に合わせて変更してください。			
SWL-UT3 パージョン4.0.0 🔯			
マニットIDが未入力の子局があります。 ユニットIDを自動入力して書込みを続けますか?			
(はい(Y) いいえ(N)			

(5)無線の書込み方法を選択します。

USB 接続 →「無線親局に設定を書込む(無線親局に USB を接続)」を選択します。

Ethernet 接続 →「無線親局に設定を書込む」を選択します。

「無線親局に設 (無線親局にUS	定を書込む SB を接続)」を選択します。
	設定の書込み方法を選択してください。
	 ● 無線親局に設定を書込む(無線親局にUSBを接続)
	◎ 無線子局に設定を書込む
	◎ 無線子局にUSBを接続して設定を書込む
	◎ 無線親局にUSBを接続して無線経由で設定を書込む
	書込み開始 キャンセル

USB 書込み

	「無線親局に設定を書込む」を 選択します。
◎ 無線親局に設定を書込む	
◎ 無線子局に設定を書込む	
書込み開始	キャンセル

Ethernet 書込み

(6)書込み確認のダイアログが表示されますので「OK」をクリックしてください。



(7)書込み完了後、以下のダイアログが表示されます。

SWL-UT3 バージョン4.0.0	8
() 書込みが完了しました。	
ОК	

注意事項		
ダイアログが表示されるまで、以下の項目を必ず遵守してください。故障の原因となります。		
・無線ユニットの電源を切らないでください。		
・USB ケーブルを抜くなど、パソコンと無線ユニットの通信を切断しないでください。		

3.4. USB 接続による子局書込み

USB 接続による子局 (SWL90-R4ML/SWL90-PL3) の書込みは以下手順で行います。

【構成イメージ】 パソコン (設定ユーティリティ) USB接続

(1)「無線機へ書込」ボタンを押す。

💀 SWL-UT3 バージョン4.0.0		10.00	
ファイル(E) \wedge ルプ(H) ツール(I)			
無線機へ書込 無線機がら読出	7714から読出 771	い書込	
共通設定 グループNa 0 、 無線通信構成 再送回数 2 全	「ボーリング通信(経路情報なし)	▼ 道択周)波数 38	
子局番号	親局	子局1	
그二까名		R4ML_1	
SERIAL			
▶ ユニット名称(ラベル)	親局	子局1	
コーットロ		123	

(2)「無線子局に設定を書込む」と「無線子局に USB を接続して設定を書込む」を選択し「次へ」ボタンを押す。



書込み開始

クリックします。

キャンセル



通信テスト

3.5. 子局通信確認

無線子局との接続確認を以下の手順で行います。

【構成イメージ】



(1) 無線親局とパソコンを USB 接続/Ethernet 接続する。

(2) USB 接続 → 接続方法:USB ポート番号:自動選択 であることを確認してください。

Ethernet 接続 → 接続方法: Ethernet 無線親局の IP アドレスと一致していることを確認してください。

(3)「TEST」ボタンをクリックして、「通信テスト選択」ダイアログを表示します。

	A 0 8 80, 1940	1988.0108.54		
ファイル(E) ヘルプ(<u>H</u>) ツール(I)				
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込	(2)接続方法 ト番- - であろこ			設定初期化
	C0/0C			
グループNa 0 ▼ 無線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし) ▼	選択周波数 33 👻	無線通信トポロジ(メッシュ	▼ 接続方法	: USB
再送回数 2 🔄		最大中維段数 5	▼ ポート番号	号: 自動選択
		子局台数 4 🚔	接続先	選択 TEST
USB 接紀	Ē	(3)「TEST」ボタン	をクリック	

■ SWL-UT3 パージョン4.0.0	
ファイル(E) ヘルプ(出) ツール(I) (2)接続方 無線機へ書込 無線機がら読出 ファイルから読出 ファイルへ書込 「共通設定 いること	法 : Ethernet レスが親局と一致して -を確認してください。
グループNa 0 → 無線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし) → 選択間波数 33 → 再送回数 2 全	 無線通信トポロジジリー 接続方法: Ethernet 最大中継段数 5 アアドレス: 192.168.102 子局台数 4 ◆ 接続先選択 TEST
Ethernet 接続	(3)「TEST」ボタンをクリック

!!! 注意事項 !!! 子局との無線通信確認を行う前に親局に設定データを書込んでください。 親局の設定データとユーティリティ上の設定が一致していないと通信確認できません。 (4) 通信確認方法選択ダイアログが表示されます。

USB:「無線子局と通信テストを行う」と「無線親局に USB を接続して無線通信テストを行う」を選択します。

Ethernet:「無線子局と通信テストを行う」を選択します。

下図の様に選択します。 ・無線子局と通信テストを行う ・無線親局に USB を接続して 無線通信テストを行う	
通信テスト選択	
通信テストを行う内容を選択してください。 ⑦ 無線親局と通信テストを行う(USB通信テスト)	
◎ 無線子局と通信テストを行う	
○ 無線子局にUSBを接続してUSB通信テスト	を行う
◎ 無線親局にUSBを接続して無線通信テスト	~を行う
 次	キャンセル

USB 接続

\int	下図の様に選択し ・無線子局と通信	ンます。 テストを行う
通信テスト選択		X
通信テストを行う	内容を選択してください。	
◎ 無線親局と連	が言テストを行う	
◎ 無線子局と通	館テストを行う	
		次へ キャンセル

Ethernet 接続

(5) 子局番号と無線パラメータを選択し、「次へ」をクリックしてください。

無線通信確認詳細設定	×
無線で設定を読み出す詳細内容を選択します。 ①通信確認を行う子局を選択します。	通信確認を行う子局番号を 選択します。
子局番号: 1	
②通信確認を行う無線パラメータを選択します。	通信確認を行う子局と 無線パラメータと設定を
周波数チャネル 33 ▼	一致させます。
グループ設定 0 ▼	
通信トポロジ ツリー 👻	
	ritu

注意:無線通信(テスト)するには親局と子局の無線パラメータ(周波数、グループ、通信トポロジ)を一致させる必要が あります。



(6)正常に接続している場合、以下のダイアログが表示されます。

SWL-UT3 バージョン4.0.0
通信が成功しました。
ОК

無線子局への書込みを以下の手順で行います。

【構成イメージ】



- (1) 無線親局とパソコンを USB 接続/Ethernet 接続する。
- (2) USB 接続の場合、接続方法:USB ポート番号:自動選択 であることを確認してください。
 Ethernet 接続の場合、接続方法:Ethernet 無線親局の IP アドレスと一致していることを確認してください。
- (3)「無線機へ書込み」ボタンをクリックし「書込み選択画面」を表示します。

💀 SWL-UT3 バージョン4.0.0	REPART CHARGE VOIL	
ファイル(<u>E)</u> ヘルプ(<u>H</u>) ツール(I)		
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込 共識党定	(2)接続方法 : USB ポート番号: 自動選択 であることを確認します。	設定初期化
^{グルーDNa} ① (3)「無線機へ書込」ボタン 再送回数 ² をクリックします。	選択問波数 33 → 無線通信トポロジ メッシュ → 最大中維段数 5 →	接続方法 : USB ポート番号: 自動選択
	子局台数 4 🛬	接続先選択 TEST

USB 接続



Ethernet 接続

!!! 注意事項 !!! 子局との無線通信確認を行う前に親局に設定データを書込んでください。 親局の設定データとユーティリティ上の設定が一致していないと通信確認できません。

(4) 通信確認方法選択ダイアログが表示されます。

「無線子局に設定を書込む」と「無線親局に USB を接続して無線経由で設定を書き込む」を選択します。







(5)子局番号と無線パラメータを選択し、「書込み開始」をクリックしてください。

無線パラメータ送信詳細設定	
無線で設定を送信する詳細内容を選択します。	
① ①設定を送信する子局を選択します。 設定を送信する子局番号を設定してください。	
複数の子周を送信する場合、「「、3,6」のようにカンマで区切るか 「1-6」のようにハイフンで範囲を指定してください。	設定を送信する子局番号を選択 します。
/ 子局番号:	
②設定を送信する無線パラメータを選択します。	ー 現在子局に設定されている 無線パラメータと一時的に一致 させます。
周波数チャネル 33 ▼	
グループ設定 0 ▼	
通信トポロジ ツリー 👻	
通信テスト 書込み開始 キー	アンセル

無線子局には「共通設定」の無線パラメータ値が書込まれます。

<u>子局には共通設定の無線パラメータ値が書込まれます。</u>		
🤐 C:¥Users¥W000724¥AppData¥Lozel¥Temp¥tmp80C6.tmp - SWL-UT3 パージョン4.0.0		
ファイル(E) ヘルプ(H) ツール(I)		
無線機へ書込 無線根から読出 ファイルから読出 ファイルへ者込		設定初期化
共通設定		
グループNa 0 → 無線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし) → 選択周波数 34 →	無線通信トポロジ ツリー 🔻	接続方法 : USB
再送回数 2 🌦	最大中維段数 5 🚽	ポート番号 : COM5
	子局台数 4	接続先選択 TEST

無線送信するには親局と子局の無線パラメータ(周波数、グループ、通信トポロジ)を一致させる必要があります。



(6)「OK」をクリックしてください。



(7)設定の書込みが開始します。

設定書込み中は下記のように進捗が表示されますので、しばらくお待ちください。



(6)設定完了後、以下のような結果画面を表示します。

青:成功、赤:失敗

設加	設定用ユーティリティ SWL-UT3				
	結果に関しては以下をご覧 設定結果	[ください。			
	子局番号	結果			
	子局1		成功		
	子局2		失敗		
			ОК		



無線ユニットに書き込んだ設定内容を「CSV ファイル」に保存します。

画面上部の「ファイルへ書込」ボタンをクリックします。

스၂
,

ファイル保存ダイアログが表示されますので、保存場所とファイル名を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。

 名前を付けて保存 ライブラ 	リ • ドキュメント •	Course	0.000	- 4g	ドキュメント	の検索	x
整理▼ 新しいフォル	y-					8E 💌	0
☆ お気に入り ダウンロード	ドキュメント ライブラリ _{対象フォルダー} : 2か所				並べ替え:	フォルダー 🗸	
■ デスクトップ 3 最近表示した場所	名前	▼ 更新日時	種類	サイズ			^
ライブラリ							E
ビクチャ ビデオ							
👌 ミュージック							
N コンピューター ● OS (C)							-
ファイル名(N): ファイルの種類(I): CSV	(カンマ区切り) (*.csv)						•
 フォルダーの非表示 					保存(S)	キャンセル	L .

※保存した CSV ファイルを編集すると、設定ユーティリティでの読出しができなくなります。 _ 設定を編集する場合は、必ず本設定ユーティリティソフトを使用して編集してください。

3.8. 保存した設定ファイルを読み出す

「CSV ファイル」で保存した設定を読出します。

画面上部の「ファイルから読出」ボタンをクリックします。

■ SWL-UT3 バージョン4.0.0	「ファイルから読出」 ボタンをクリック
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイル	書込
共通設定 グループNa 0 → 無線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし)	•
再送回数 2 €	

ファイル読出ダイアログが表示されますので、読出すファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

 開く ライブラ 	リ , ドキュメント ,	(5300	0.000	▼ 47	ドキュメントの検索	3 2
整理 ▼ 新しいフォル	9-				H 🕶 🔲 🌘)
☆ お気に入り ダウンロード	ドキュメント ライブラリ _{対象フォルダー} : 2か所				並べ替え: フォルダー ▼	
 〒スクトップ ● デスクトップ ● 副証表示した場所 ● ライブラリ ■ ドキュメント ■ ピクチャ ■ ビデオ ● ミュージック ● コンピューター ▲ OS (C:) ● DYD RW ドライ 	名前	更新日時	種類	94X		E
771	(JUŽ(N):			•	ISV (カンマ区切り) (*.csv) ▼ 開く(0) キャンセル]

<u>※本設定ユーティリティ以外で編集した CSV ファイルを読み出すと、以下のダイアログが表示され読出しができなく</u>なります。設定を編集する場合は、必ず本設定ユーティリティソフトを使用して編集してください。



無線ユニット親局に USB/Ethernet を接続して設定データを読出します。

(注)親局のパラメータを設定ユーティリティ経由ではなく、ユニット本体のボタン操作で書き込んだ場合、

<u>親局から全てのパラメータを読み出すことができません。</u>

<u>その場合は、親局と子局全台からUSB接続にて読出しを行ってください。</u>

【構成イメージ】



- (1) 無線親局とパソコンを USB 接続/Ethernet 接続する。
- (2) USB 接続の場合、接続方法:USB ポート番号:自動選択 であることを確認してください。
 Ethernet 接続の場合、接続方法:Ethernet 無線親局の IP アドレスと一致していることを確認してください。
- (3)「無線機へ読出」ボタンをクリックし、「パラメータ読出し選択」画面を表示します。



USB 接続



Ethernet 接続
(3)無線機からの読出し方法を選択します。

「無線親局からパラメータを読み出す(無線親局に USB を接続)」を選択し、「読出し開始」ボタンを押します。







Ethernet 接続

(4) 読出し確認のダイアログが表示されますので「OK」をクリックしてください。



(5)読出し完了後、以下のダイアログが表示されます。



<u>!!! 注意事項 !!!</u>
<u>結果画面が表示されるまで、以下の項目を必ず遵守してください。故障の原因となります。</u>
<u>・無線ユニットの電源を切らないでください。</u>
- USB ケーブル/Ethernet ケーブルを抜くなど、パソコンと無線ユニットの通信を
<u>切断しないでください。</u>

無線ユニットに設定されている設定内容を設定ユーティリティ上に読出します。

「無線機から読出し」ボタンをクリックして、「パラメータ読出し選択」を表示します。

🖳 SWL-UT3 🖉	バージョン4.0.0		
ファイル(<u>E</u>)	ヘルプ(<u>H</u>) ツール(<u>1</u>	「無線機から読出」 ボタンをクリック	
無線機へ書う	込 無線機から読出	ファイルから読出	ファイルへ書込
共通設定			
グループNa	0 ▼ 無線通信構成	ポーリング通信(経路情	報なし) 👻
再送回数	2 🌲		



(2)パラメータ読出し選択ダイアログが表示されます。

①USB:「無線子局からパラメータを読出す」と「無線親局に USB を接続して無線経由でパラメータを読出す」を 選択します。

Ethernet:「無線子局からパラメータを読出す」を選択します。



USB 接続



Ethernet 接続

②子局に無線親局経由でパラメータを読出す場合、下記画面が表示されます。

読出しを実行する場合は「実行」ボタン、読出しを中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

無線パラメータ読出し詳細設定	EZ
無線で設定を読出す詳細内容を選択します。 ①設定を読出す子局を選択します。 設定を読出す子局番号を設定してください。 複数の子局を読出しする場合、「1.3.6」のようにカンマで区切るか 「1-6」のようにハイフンで範囲を指定してください。	設定を読出す子局番号を 選択します。
子局番号:	
 ②設定を読出す無線パラメータを選択します。 周波数チャネル 33 グループ設定 0 ・	 読出しの際は、無線パラメータを 変更しないでください。 子局と表示の無線パラメータが 一致していない場合は、メイン画 面の共通設定で無線パラメータ を変更してください。
※無線ユニットがテストモードの場合、無線配信機能は使用できませ 通信テスト 読出し開始	ん。 キャンセル

③読出し確認のダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。

読出し確認	
設定の読出しを行います。 現在設定されている内容は破棄されますが よろしいですか?	
「OK」をクリックし	<i>、</i> ます。
ОК キャンセル	

④設定の読出しが開始されます。

設定読出し中は下記のように進捗が表示されますので、しばらくお待ちください。



⑤設定読出し後は以下のような結果表示画面を表示します。

青:成功、赤:失敗

設定用ユーティリティ SWL-UT3					
	設定結果				
	子局番号	結果			
	子局1		成功		
	子局2		失敗		
ОК					



3.11. 設定ユーティリティの設定内容を初期化する

設定内容を初期値に戻すには、右上の「設定初期化」ボタンをクリックします。

		「設定初期化」	
ファイル(E) ヘルプ(出) ツール(I)		をクリック	
無線機へ書込 無線機がら読出 ファイルから読出 ファイルへ書込			設定初期化
共通設定			
グループNa 0 → 無線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし) →	選択周波数 33 👻	無線通信トポロジ ツリー 🔻	接続方法 : USB
再送回数 2 💂		最大中維段数 5 👻	ポート番号: 自動選択
		子局台数 1 🚔	接続先選択 TEST

設定初期化方法

「OK」ボタンをクリックしてください。

シート内の設定が初期化されます





第4章 画面詳細

4.1.	起動画面 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4. 2.	メイン画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-4
4. 3.	Ethernet 設定画面 ······ 4-7
4. 4.	ルート設定画面 ····· 4-10
4. 5.	パルスカウント設定画面 ・・・・・・・・・・・・ 4-11
4. 6.	増設ユニット設定画面 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4-12
4. 7.	個別設定画面(ポーリング通信選択時) · · · · · 4-14
4. 8.	個別設定画面(トランジェント通信選択時) · · · 4-17
4. 9.	デバイスー覧画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-22
4. 10.	. ヘルプ機能 ・・・・・ 4-23
4. 11.	. 付録 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

4.1. 起動画面

起動時に「設定ユーティリティ選択画面」が表示されます。

使用する「無線親局の形名と SW Ver」を選択することで、親局に対応した設定ユーティリティが自動選定されます。 SW Ver は本体に合わせて選択してください。



表示項目

No.	使用する無線親局ユニット	設定ユーティリティ	無線親局タイプ
1	SWL90-ETMC Ver4.00	SWL-UT3 Ver4.00	Ethernet タイプ
2	SWL90-ETMC Ver3.00	SWL-UT3 Ver2.02	Ethernet タイプ
3	SWL90-ETMC Ver2.00	SWL-UT3 Ver1.00	Ethernet タイプ
4	SWL90-ETMC Ver1.00	SWL-UT1	Ethernet タイプ
5	SWL90-R4MD Ver4.00	SWL-UT4 Ver4.00	MODBUS タイプ
6	SWL90-R4MD Ver3.00	SWL-UT4 Ver2.00	MODBUS タイプ
7	SWL90-R4MD Ver2.00	SWL-UT4 Ver1.00	MODBUS タイプ
8	SWL90-R4MD Ver1.00	SWL-UT2	MODBUS タイプ

SWL-UT3 Ver4.00 以降は「ウィザード画面」を選択すると対話方式で設定を行うウィザード画面に移行し、「メイン画面」を 選択すると詳細な設定を行うメイン画面に移行します。

(SWL-UT3/ SWL-UT4 Ver2.00 以前は各設定ユーティリティのメイン画面が起動します。)



メイン画面では、親局・子局共通の設定や自局に必要な設定を行います。

各設定画面移動ボタンで各機能の設定画面を呼び出します。

②書込み/誘 3章参照	売出しボタン -	_		アイル操作ボタン		
	ファイル(E) ヘルブ(出) ツール(1) 無線機へ書込 無線機がら読出 共通設定 グループNa ● ガループNa ● ● 再送回数 2 ◆	[] ファイルから読出 ファイル オーリング通信(経路情報なし)	3 章	 重参照 33 → 無線通信トポロジ ツ 最大中維段数 5 子局台数 4 	③共通設定 4.2.1参照 Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ	定和期间化
	子局番号 ユニット名 SEDIAI	_{親局} 設定 参照	子局1 R4ML_1	子局2 R4ML_2	子局3 R4ML_3	
	 → ユニット名称(=) ⑧個別設 コニットID ユニットID ユニットタイブ 第2日に 第3日に 第3日に<td>定 ング通信 4.7参照 ジェント通信 4.8 参照</td><td>子局1 123 SWL90-R4ML(中維局兼子局) 【</td><td>子局2 SWL90-R4ML(中維局兼子局)</td><td>子局3 SWL90-R4ML(中維局兼子局) 🔽 S</td><td>WL90-R4</td>	定 ング通信 4.7参照 ジェント通信 4.8 参照	子局1 123 SWL90-R4ML(中維局兼子局) 【	子局2 SWL90-R4ML(中維局兼子局)	子局3 SWL90-R4ML(中維局兼子局) 🔽 S	WL90-R4
	個別設定	4.0%和	個別設定	個別設定	個別設定	
(5)E 4.	thernet 設定 3 参照 Ethernet設定	64 0 Ethernet設定	16 0		16 0ルート設定 4参照	
	ルート設定 パルスカウント設定		ルート設定 パルスカウント設定	ルート設定 パルスカウント設定	ルート設定 パルスカウント設定	18)I
	デバイス割付け一覧 <u> 一 ()</u> () デバイス一覧 49 条昭	デバイス割付け一覧	増設局設定	増設局設定	增設局設定	et e
0	Sheet1	10)増設局設定 4.10参照				▶ 終了

メイン画面には、下記の項目があります。

各項目の詳細に関しましては、各項目の参照項をご参照ください。

No.	名称	内容	参照項
1	ファイル操作ボタン	ファイルの保存や読出し、無線ユニットへの書込み、読出しを行いま す。	3.7項、3.8項
2	書込み/読出しボタン	無線ユニットへ設定書込み、読出しを行います。	3章
3	共通設定	親局と子局が無線通信を行うために共通する項目について、設定を行います。	4.2.1項
4	自局設定	ユニット ID や子局タイプついての設定を行います。	4. 2. 2 項
5	Ethernet 設定	Ethernet 通信に関しての設定を行います。	4.3項
6	ルート設定	親局から子局に通信する際、中継を行うルートの設定を行います(子 局・ツリーモード時のみ)	4.4項
Ø	パルスカウント設定 [※]	子局のパルスカウント機能についての設定を行います。 (子局のみ)	4.5項
8	個別設定	ユニット毎の動作についての設定を行います。 通信構成設定により、設定内容が変化します。	4.7項 (ポーリング通信) 4.8項 (トランジェント通信)
9	デバイス一覧	現在の設定内容で占有するデバイスサイズ及び、詳細を表示します。	4.9項
10	増設局設定	子局に接続する増設ユニットについての設定を行います。 (子局のみ)	4. 10 項

<u>4.2.1. 共通設定</u>

無線通信に関して親局・子局が共通で設定する項目についての設定を行います。

🖳 SWL-UT3 パージョン4.0.0	
ファイル(<u>E)</u> ヘルプ(<u>H</u>) ツール(<u>I</u>)	
無線機へ書込 無線機から読出 ファイルから読出 ファイルへ書込	③ ④ 酸定初期化
グループNa 0 → 無線通信構成 ポーリング通信(経路情報なし) → 再送回数 2 -	選択周波数 33 無線通信トポロジ ツリー 5 第続方法 : USB 最大中維段数 5 ボート番号 : 自動選択
5	子局台数 🇯 🚔 接続先選択 TEST

No.	名称	内容	設定範囲
1	グループNo.	無線通信のグループNo.を設定します。 無線ユニットを複数系統使用する場合は、グループ No は 重複しないように設定してください。	0~15
2	無線通信構成 ※1	 無線通信にてデータを取得する無線通信構成を設定します。以下に選択基準を記載します。 ・ポーリング 子局が入出力子局(SWL90-R4ML)、パルスカウント子局 SWL90-PL3(中継局兼子局)を使用する場合 ・トランジェント 温湿度センサやパルスカウント子局を使用する場合 ・経路情報なし シーケンサに接続する場合 ・経路情報あり 見える化ツール(SWL-Monitor)に接続する場合 	ポーリング通信 (経路情報なし)/ ポーリング通信 (経路情報あり)/ トランジェント通信 (経路情報なし)/ トランジェント通信 (経路情報あり)
3	選択周波数	無線通信で使用する周波数を選択します。	24~38
4	無線通信トポロジ	設定中のグループの使用する通信構成の設定を行いま す。 ^{※1}	ツリー/メッシュ
5	再送回数	無線通信で送信が失敗したときの送信リトライ回数を 設定します。	0~15
6	最大中継台数	通信モードがメッシュモードのときに最大何台まで中継 を許可するかの設定を行います。 (通信モードがメッシュの時のみ有効)	0~5
Ī	子局台数	親局と通信を行う子局の数(中継専用局含む)の台数を設 定します。 子局台数により、シートに表示される子局台数が変化し ます。	1~64

※1:各無線通信構成の説明は、SWL90シリーズの『ユーザーズマニュアル(詳細編)』を参照ください。

(当社ホームページhttp://www.melsc.co.jp/business/ よりダウンロードして入手できます。)

無線通信構成、無線通信トポロジを変更すると、変更後に使用されないパラメータは初期値に変更されます。 また、子局台数を減らしたとき非表示となる子局は初期値となります。

4.	2.	2.	自局設定

\square							
	Η	子局番号	親局	子局1	子局2	子局3	^
2		▶ ユニット名		R4ML_1	R4ML_2	R4ML_3	
3		SERIAL					
4		ユニット名称(ラベル)	親局	子局1	子局2	子局3	
5	\neg	y⊦iD		123			
		ユニットタイプ		SWL90-R4ML(中継局兼子局) 💌	SWL90-R4ML(中継局兼子局) 💌	SWL90-R4ML(中継局兼子局) 본	SWL90-R4I
6		個別設定	個別設定	個別設定	個別設定	個別設定	
\bigcirc		ビット点数情報	64	16	16	16	-
	Ν	ワード点数情報	0	0	0	0	
		Ethernet設定	Ethernet設定				

自局設定では、ユニット ID やユニット名称など、ユニットタイプについての設定を行います。

No.	名称	内容	設定範囲
1	子局番号	子局の場合、ユニット毎に「1」から連番で番号が 割り振られます。	-
2	SERIAL	ユニット上部の銘板に記載してある SERIAL 番号を入力し ます。SERIAL 番号を入力することにより、SERIAL の上位 3 桁がユニット ID に自動入力されます。	00000000~ 99999999
3	ユニット名称 (ラベル)	ユニット名称を設定します。	8 文字
4	ユニット ID	親局に子局を登録する際のユニット ID を設定します。 空欄の状態で親局に書込みを行うと、子局番号の値が自 動的に設定されます。	1~254 (1~99) ※1
5	ユニットタイプ ※2	子局の無線ユニットタイプを設定します。	SWL90-R4ML(中継局兼子局)/ SWL90-TH1(E)(中継局兼子局) (システム情報あり)/ SWL90-TH1(E)(子局) (システム情報あり)/ SWL90-PL3(中継局兼子局)/ SWL90-PL3(子局) ※2
6	ビット点数情報	親局:全子局のビット点数の総計を表示します。子局:自局が使用しているビット総点数を表示します。	設定 不可 (白動計質)
$\overline{\mathcal{O}}$	ワード点数情報	親局:全子局のワード点数の総計を表示します。 子局:自局が使用しているワード総点数を表示します。	故た1、り (日 判引 昇/

※1:ユニットタイプに SWL90-TH1(E)を選択した場合は設定範囲が 1~99 になります。

※2:SWL90-TH1 (E) 及び SWL90-PL3(子局)は、「無線通信構成」を「トランジェント通信」に設定した場合のみ選択できます。

Ethernet 設定画面では、Ethernet 通信に関する設定を行います。

Ethernet 無線親局設定画面では、自局の Ethernet 通信に関する設定を、相手局設定画面では通信相手の Ethernet に関しての設定を行います。

<u>4.3.1.</u> Ethernet 無線親局設定画面

IPアドレス	192 168 10 2
サブネットマスク	255 255 0
ポート番号(10進数)	49152 3
プロトコル選択	3E74-4
伝文送信周期(ms)	50
クライアント要求伝文送信間隔(タ	j:秒) 0 → 分 0 ◆ 秒

No.	名称	内容	設定範囲
1	IPアドレス	無線ユニットの IP アドレスを登録します。	0. 0. 0. 1~ 255. 255. 255. 254
2	サブネットマスク	無線ユニットの IP に対するサブネットマスクを設定します。	192. 0. 0. 0~ 255. 255. 255. 252
3	ポート番号	相手 Ethernet 機器と通信する為の無線ユニットのポート 番号を設定します。	0000~65534
4	プロトコル選択	 通信相手 Ethernet 機器により、プロトコル形式を設定します。 以下に選択基準を記載します。 3E フレーム: iQ-R、Q、L、FX5 シーケンサや、 SWL Monitor(※1)と接続する場合。 1E フレーム: FX3 シーケンサと接続する場合 3E フレームサーバ: EcoServer IIと接続する場合 ※1E フレームは、「トランジェント通信(経路情報あり))、 「ポーリング通信(経路情報あり))の場合には表示 されません 	3E フレーム/ 1E フレーム/ 3E フレームサーバ
5	伝文送信周期(ms)	クライアント機能時に伝文の送信を行う周期を設定しま す。	50~9999
6	クライアント 要求伝文送信間隔	サーバ機能時に、クライアントから設定時間要求伝文が 送信されない場合、エラーを発生する時間を設定します。 ※プロトコル選択が「3E フレームサーバ」の場合に有効 なパラメータです。	0分0秒~ 99分59秒

※SWL Monitor は当社製無線ユニットデータ見える化ツールです。

詳細は当社ホームページhttp://www.melsc.co.jp/business/ をご参照ください。

<u>4.3.2.</u> Ethernet 相手局設定画面

シーケンサリンク設定 通信デバイス設定 ネットワーク番号 00 PC番号 FF 要求先1/0局番 3FF 要求先2ニット番号 00 OPU監視タイマ 16 Erthernetタイムアウト時間 5000 経路情報(10進数) D = システム領域書き込み(10進数) D = システム領域読み出し(10進数) D = システム領域読み出し(10進数) D =	 ● Ethernet設定 無線親局設定 相手局設定 IPアドレス I92 I68 I0 	□ 2 ポート番号(10進数) 49408]
	シーケンサリンク設定 ネットワーク番号 の0 PC番号 要求先1/0局番 の0 GPU監視タイマ Erthernetタイムアウト時間 5000	通信デバイス設定 デバイス種別 開始番号 ビット入力(16進数) X ▼ 1000 ビット出力(16進数) Y ▼ 1000 ワード入力(10進数) D ▼ 300 ワード入力(10進数) D ▼ 600 経路情報(10進数) D ▼ 5000 システム領域書き込み(10進数) D ▼ 1000 システム領域読み出し(10進数) D ▼ 1050	

No.	名称	内容	設定範囲
1	IPアドレス	相手 Ethernet 機器の IP アドレスを登録します。	0. 0. 0. 1~ 255. 255. 255. 254
2	ポート番号	相手 Ethernet 機器と通信する為の相手局側のポートを 設定します。	0000~65535
3	ネットワーク番号	シーケンサアクセス時に最後に経由するネットワークシ ステムの番号を設定します。	00H~FFH ※1
4	PC 番号	システム上でのアクセス局の PC 番号を、ネットワークユ ニットなどの設定番号で設定します。 (PC 番号 : FF はネットワーク番号が 00H のときのみ有効)	00H~FFH ※1
5	要求先 I/0 局番	使用するシーケンサに合わせて設定を行います。 アクセス局のシーケンサ CPU が以下の場合は、使用する CPU のマニュアルをご参照ください。	0000H~FFFFH %1
6	要求先ユニット局番	 ・マルチ CPU システムのシーケンサ SOU ・Q シリーズ C24 などによるマルチト・ロップ 接続上の シーケンサ CPU ・二重化システムの CPU 上記以外の場合は初期値を設定します。(固定) 	00H~FFH ※1
\bigcirc	CPU 監視タイマ	Ethernet ユニットが自局の CPU を監視する監視時間を設 定する。	1~3600 ※1
8	Ethernet タイムアウト時間	Ethernet 機器との送信から受信までの通信タイムアウト 時間を設定します。 ※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム、1E フレ ーム)の場合のみ有効なパラメータです。	100~9999
9	ビット入力デバイス 種別	SLMP(3E フレーム)又は MC プロトコル 1E フレームで、 Ethernet 相手機器に書込みを行う、デバイスについての 設定を行います。 デバイス種別と開始番号(書込み先頭アドレス)を設定し ます。 他のシステムと重複しないようにデバイスを割り当てて ください。 無線ユニットでの使用範囲: 開始番号の設定値+ビット/ワード総点数 例)デバイス種別:X 開始番号:1000 ビット総点数:64点の場合 X1000 ~ X103Fまでの領域を使用します。	次ページ参照

※1:③~⑦のパラメータを変更したい場合はユニットのボタン操作で実行してください。

設定ユーティリティでは読出し専用のパラメータになります。

通信デバイス設定			
(1)	デバイス種別	開始番号	2
ビット入力 ③	× -	1000	4
ビット出力 5	Y -	1000	6
ワード入力 (7)	D -	300	8
ワード出力 (9)	D -	600	10
経路情報	D -	5000	12
システム領域書き込み	D -	1000	14
システム領域読み出し	D -	1050	
		0K ***`/7/1	

※1:①~⑭は、プロトコル選択がクライアント(3E フレーム、1E フレーム)の場合に有効なパラメータです

※2: ⑨~⑭は、通信構成が「ポーリング通信(経路あり)」又は「トランジェント通信(経路あり)」の場合に

有効なパラメータです。

No.	名称	内容	設定範囲
1	ビット入力 デバイス種別	ビット入力データ(無線ユニット子局からの入力信号)を 書き込むデバイス種別及びデバイスの開始番号の設定を	X/M/D
2	ビット入力 開始番号	行います。 ※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム、1E フレ ーム)の場合のみ有効なパラメータです。	0~1F40 (D/M 設定時は 0~8000)
3	ビット出力 デバイス種別	ビット出力データ(無線ユニット子局への出力信号)を読 み出すデバイス種別及びデバイスの開始番号の設定を行	Y/M/D
4	ビット出力 開始番号	**プロトコル選択がクライアント(3E フレーム、1E フレ ーム)の場合のみ有効なパラメータです。	0~1F40 (D/M 設定時は 0~8000)
5	ワード入力 デバイス種別	ワード入力データ(無線ユニット子局からのアナログ入 カデータ)を書き込むデバイス種別及びデバイスの開始	D
6	ワード入力 開始番号	留与の設定を行いより。 ※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム、1E フレ ーム)の場合のみ有効なパラメータです。	0~8000
Ø	ワード出力 デバイス種別	ワード出力データ (無線ユニット子局へのアナログ出力 データ)を読み出すデバイス種別及びデバイスの開始番 号の設定を行います	D
8	ワード出力 開始番号	※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム、1E フレ ーム)の場合のみ有効なパラメータです。	0~8000
9	経路情報 デバイス種別	通信構成にて、(経路情報あり)を設定した場合、経路情 報を書き込む先のデバイス種別及び開始番号を設定しま す。	D
10	経路情報開始番号	経路情報は固定で 1409 ワード使用します。 ※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム)の場合の み有効なパラメータです。	0~8000
1	システム領域書込み デバイス種別	通信構成にて、(経路情報あり)を設定した場合、無線ユ ニット親局からのシステム情報を書き込む先のデバイス 種別及び開始番号を設定します。	D
12	システム領域書込み 開始番号	システム領域書込みは固定で 12 ワード使用します。 ※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム)の場合の み有効なパラメータです。	0~8000
(13)	システム領域読出し デバイス種別	通信構成にて、トランジェント通信(経路情報あり)を設 定した場合、無線ユニット親局がシステム情報を読み出 す先のデバイス種別及び開始番号を設定します。	D
14	システム領域読出し 開始番号	システム領域読出しは固定で 12 ワード使用します。 ※プロトコル選択がクライアント(3E フレーム)の場合の み有効なパラメータです。	0~8000

0

4.4. ルート設定画面

ルート設定画面では、動作モードがツリーの場合、子局へ送信される中継ルートの設定を行います。



No.	名称	内容	設定範囲
1	中継段数	親局が子局と通信を行うまでの中継局を経由する段数の 設定を行います。	0~5
2	子局番号	中継を行う子局番号の設定を行います ※設定する内容はユニット ID ではなく、子局番号です。 ※親局側から見て1番目の中継局を「中継1」、2番目の 中継局を「中継2」に設定してください。	1~64 (自局番号は入力不可)

※子局台数を減らしたときに、非表示となった子局が設定されている経路設定は、削除されます。

パルスカウントに関しての設定を行います。

CH3 は SWL90-PL3 のみ設定可能です。

ペリアント設定 子局1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
パルスカウント設定 未使用 🔻	
CH1	2
カウント桁数 8 ー	3
初期值	4
最小入力パルス幅(Hz) 30 -	
CH2	2
カウント桁数 8	3
初期値	4
最小入力パルス幅(Hz) 30 🗸	
СН3	2
カウント桁数 8	3
初期値	4
最小入力パルス幅(Hz) 30 🚽	
OK キャンセル	
	1

No.	名称	内容	設定範囲
1	パルスカウント 有効設定	パルスカウント機能有効/無効設定を行います。	未使用/ 1Ch / 2Ch / 3Ch (3Ch は PL3 のみ)
2	パルスカウント 桁数設定	パルスカウントで使用する桁数の設定を行います。	1~8
3	パルスカウント 初期値	パルスカウント値としてカウントを開始する初期値を 設定します。	0~999999999 (桁数設定による。)
٩	パルスカウント 最小入力パルス幅	パルスカウントで取得可能なパルスの最小入カパルス幅 を設定します。 SWL90-R4ML の最小入カパルス幅は以下の通りです。 30Hz : ON/OFF 各 16.7ms 以上 50Hz : ON/OFF 各 10.0ms 以上 100Hz : ON/OFF 各 5.0ms 以上 SWL90-PL3 の最小の入カパルス幅は以下の通りです。 10Hz : ON 10ms 以上、OFF 20ms 以上 30Hz : ON/OFF 各 50.0ms 以上	SWL90-R4ML の場合 30 / 50 / 100 SWL90-PL3 の場合 10 / 30

子局(SWL90-R4ML)に接続する増設ユニットに関する設定を行います。

4.6.1. 增設設定画面



増設設定画面

No.	名称	内容	設定範囲
1	増設局台数	子局に接続する増設の台数(予約局含む)を設定します。 増設局台数として設定した台数の増設設定が表示され、 設定可能となります。	0~8
2	ユニット種別	接続する増設ユニット種別の設定を行います。	DIO/DI 16 点ユニット/ AD4 点ユニット
3	予約設定	設定した増設ユニットの使用局/予約局の設定を行い ます。	使用局/ 予約局
4	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データのクリア/ホールドについて の設定を行います。	クリア/ ホールド/ 子局に合わせる
5	アナログ Ch 設定	AD4 点ユニットのアナログ入力に関する設定を 行います。 「4.6.2 アナログ Ch 設定画面)参照	_

増設設定画面設定項目

ユニット種別をAD4点ユニットからDIO/DI16点ユニットへ変更すると、変更後に使用されないパラメータは 初期値に変更されます。

<u>4. 6. 2.</u> <u>アナログ Ch 設定画面</u>

アナログ Ch 設定画面では、アナログ増設ユニットの各アナログチャンネルの設定を行います。

h設定									x	
	Ch1		Ch2		Ch3		Ch4		~	1
								7	_	2
ŷ*	0-10V	-	0-10V	-	0-10V	-	0-10V		, 	3
÷	サンプリング	-	サンプリング	-	サンプリング	-	サンプリング			(4)
銰	0		0		0		0			
<u> の K 年ャンセル </u>										
	h設定 l ジ 法 数	h設定 Ch1 Ch1 Ch1 つ つ-10V サンプリング 数 0	h設定 Ch1 I 0-10V ▼ 法 サンプリング ▼ 数 0	h設定 Ch1 Ch2 I Ch1 Ch2 I 0-10V 0-10V 法 サンプリング 0-10V 数 0 0 0	h設定 Ch1 Ch2 Ch1 Ch2 の つ つ つ い の の の の の の の の の の の の の の の	h設定 Ch1 Ch2 Ch3 Ch1 Ch2 Ch3 Ch3 0-10V 0-10V 0-10V 法 サンプリング サンプリング サンプリング 数 0 0 0 0 0	h設定 Ch1 Ch2 Ch3 I O-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V ▼ 法 サンプリング ▼ サンプリング ▼ けいプリング ▼ 00-10V ▼ (1) 0-10V ■ (1) 0-1	h設定 Ch1 Ch2 Ch3 Ch4 I O-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V 法 サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング 数 0 0 0 0 0 0 0 OK ★1	h設定 Ch1 Ch2 Ch3 Ch4 I O-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ OK 年ャンセル	h設定 Ch1 Ch2 Ch3 Ch4 I 0-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V ▼ 0-10V ▼ 法 サンプリング ▼ サンプリング ▼ サンプリング ▼ の 0 0 0 0 OK キャンセル

No.	名称	内容	設定範囲
1	アナログ Ch 変換許可	該当するアナログ Ch の使用有/無を設定します。	チェック有:使用 チェック無:未使用
2	入力レンジ	使用するデータのレンジを設定します。	0-10V/ 0-5V/ 1-5V/ 0-20mA/ 4-20mA/ ユーザレンジ1(メーカ 設定) ユーザレンジ2(メーカ 設定)
3	平均方法	データの表示について行う平均処理について設定しま す。	サンプリング/ 回数平均/ 時間平均/ 移動平均
4	平均回数	平均方法にて、平均を行う回数を設定します。 サンプリングは平均処理を行わないため、平均回数は無 効となります。 (時間平均の場合、設定値×10ms 間のデータ平均と なります。)	0~32

4.7. 個別設定画面(ポーリング通信設定項目)

個別設定では、無線タイムアウト時間やエラー時データなどの、ユニット毎の動作についての設定を行います。 本項では、無線通信構成にて、ポーリング通信選択時の設定項目について記載します。

<u>4.7.1.</u> 親局[SWL90-ETMC] 個別設定画面(ポーリング通信)

	📙 個別設定	R1. 1990 A-014		
F	子局番号	親局		
Ľ	2=>1917			
2	 無線気・ (ホペーリン 	イムアウト時間(秒) グ通信時)	0.0	
3		ff -タ	ヒ゛ットクリア,ワート゛ホールト゛	-
	無線出	力電力	20mW	-
		ОК	キャンセル	

No.	名称	内容	設定範囲
1	無線タイムアウト 時間 (ポーリング通信時)	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0.0~ 999.9(秒)
2	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データについての設定を行います。	クリア/ホールド/ ビットクリア・ ワードホールド/ ビットホールド・ ワードクリア
3	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW

<u>4.7.2.</u> 子局[SWL90-R4ML] 個別設定画面(ポーリング通信)



No.	名称	内容	設定範囲
1	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加 予定の場合は予約局と設定します。	通常局/中継局/ 予約局
2	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0.0~ 999.9(秒)
3	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データについての設定を行います。	クリア/ ホールド
4	エラー端子の出力	エラー発生時のエラー端子の出力信号の設定を行いま す。	LIVE 信号/a 接点/ b 接点
5	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW

<u>4.7.3.</u> 子局[SWL90-PL3] 個別設定画面 (ポーリング通信)

	🖳 個	別設定	
		子局番号 子局1	
\bigcirc	Κ.	ユニットタイプ SWL90-PL3(子局兼中維局	j)
2	\sim	▶ 動作	通常局 ▼
3		無線タイムアウト時間(秒) (ホ℃-リング通信時)	0.0
<u>(4)</u>		エラー時データ	<i>р</i> IJ <i>г</i>
5		エラー端子の出力	b接点 ▼
6		無線出力電力	20mW 💌
		出力機能切り換え	エラー出力
		OK	[##JUN]

No.	名称	内容	設定範囲
1	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加 予定の場合は予約局と設定します。	通常局/中継局/ 予約局
2	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0.0~ 999.9(秒)
3	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データについての設定を行います。	クリア/ ホールド
4	エラー端子の出力	エラー発生時のエラー端子の出力信号の設定を行いま す。	LIVE 信号/a 接点/ b 接点
5	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW
6	出力機能切り換え	出力機能の動作切り換えを行います。	エラー出力/ 警報出力

4.8. 個別設定画面(トランジェント通信設定項目)

個別設定では、ユニット ID や出力電力、送信周期など、ユニット毎の動作についての設定を行います。 本項では、無線通信構成にて、トランジェント通信選択時の設定項目について記載します。

<u>4.8.1.</u>子局[SWL90-ETMC] 個別設定画面(トランジェント通信)

	💀 🕼	別設定	10		
1	X	子 局番号 ユニットタイプ	親局		
2		▶ エラー時デー	<u>م</u>	ヒ゛ットクリア,ワート゛オ	ī−ルト*
3] _`	無線出力電	ː力	20mW	
		 親局データ追 税) 	送信ウェイト時間(5	
			OK	キャンセル	

No.	名称	内容	設定範囲
1	エラー時のデータ	エラー発生時の出カデータについての設定を行います。	クリア/ホールド/ ビットクリア・ ワードホールド/ ビットホールド・ ワードクリア
2	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW
3	親局データ送信 ウェイト時間	親局が無線送信を行った後、次の無線送信を行うまでの 時間を設定します。	0~60(秒)

<u>4.8.2.</u> 子局[SWL90-R4ML] 個別設定画面 (トランジェント通信)

	🖳 個	閉設定			
ത	0	子局番号	子局1		
		ユニットタイプ	SWL90-R4ML(中維局兼子	局)	
2		▶ 動作		通常局	•
3		無線送信間	隔(分:秒)	01:00	
4		無線タイムア	ウト時間	0	
(5)		エラー時デー	\$	クリア	•
6		エラー端子の	出力	b接点	•
\bigcirc		無線出力電	л	20mW	•
		子局入力信	号監視遅延時間	1	
			ОК	キャンセル	

No.	名称	内容	設定範囲
1	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加 予定の場合は予約局と設定します。	通常局/予約局
2	無線送信間隔 (分:秒)	子局から親局へ無線送信を行う周期を設定します。	00:30~99:59
3	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0~250(秒)
4	エラー時のデータ	エラー発生時の出力データについての設定を行います。	クリア/ ホールド
5	エラー端子の出力	エラー発生時のエラー端子の出力信号の設定を行います。	LIVE 信号/a 接点/ b 接点
6	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW
$\overline{\mathcal{O}}$	子局入力信号監視 遅延時間	↓ 入力端子の入力検知後、入力の監視を無効にする時間を 設定します。	0~60

<u>4.8.3.</u> 子局[SWL90-TH1(E)] 個別設定画面(トランジェント通信)

ſ	🖳 個	別設定		— — X	J
m		子局番号	子局2		
$\underline{\nabla}$		ユニットタイプ	SWL90-TH1(E)(中維局)		
(2)		▶ 動作		通常局	
3	<u> </u> ~`	無線送信間	隔(分:秒)	1:00	
4		無線タイムア	ウト時間	0	
5	$\left \right\rangle$	温度データオ	フセット	0.0	
		湿度データオ	フセット	0.0	
			ОК	キャンセル	

自局設定(トランジェント通信選択時)(1/2)

自局設定(トランジェント通信選択時)	設定項目(1/2)
--------------------	-----------

No.	名称	内容	設定範囲
1	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加 予定の場合は予約局と設定します。	通常局/予約局
2	無線送信間隔 (分:秒)	子局から親局へ無線送信を行う周期を設定します。	00 : 30~99 : 59
3	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0~250(秒)
4	温度データ オフセット(℃)	センサデータにオフセットをかける値を設定します。	
5	湿度データ オフセット(%)	ユニットタイプが SWL90-TH1(E)(中継局)又は SWL90-TH1(E)(子局)の場合のみ設定可能です。	-99. 9~99. 9

<u>4.8.4.</u> 子局[SWL90-PL3] (中継局兼子局) 個別設定画面 (トランジェント通信)

5	子局番号	子局2		
$\overline{}$	ユニットタイプ	SWL90-PL3(中維局兼子局	3)	
	▶ 動作		通常局	-
	無線送信間	隔(分:秒)	01:00	
$\langle \rangle$	無線タイムア	ウト時間	0	
$\langle \rangle$	エラー時デー	Q	クリア	•
~	▶ エラー端子の	出力	b接点	-
_	、 無線出力電)力	20mW	•
	出力機能切	り換え	エラー出力	
		ОК	キャンセル	
	11111	子局番号 ユニットタイプ ・ 動作 無線送信間 、無線タイムア エラー時デー エラー端子の 、無線出力電 出力機能切	子局電号 子局2 ユニットタイプ SWL90-PL3(中継局兼子局) 第6 無線送信間隔(分:秒) 無線シイムアウト時間 1 ユラー時データ エラー端子の出力 エラー端子の出力 無線出力電力 出力機能切り換え 0	子局金 2こットタイプ SWL80-PL9(中継局兼子局) 動作 通常局 無線送信間隔(分:秒) 01:00 無線送信間隔(分:秒) 01:00 三線タイムアウト時間 0 ゴラー時データ クリア ゴラー時データ クリア ゴラー端子の出力 b持変点 無線出力電力 20mW 出力機能切り換え ゴラー出力

No.	名称	内容	設定範囲
1	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加 予定の場合は予約局と設定します。	通常局/予約局
2	無線送信間隔 (分:秒)	子局から親局へ無線送信を行う周期を設定します。	00:30~99:59
3	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0~250(秒)
4	エラー時のデータ	 エラー発生時の出力データについての設定を行います。	クリア/ ホールド
5	エラー端子の出力	エラー発生時のエラー端子の出力信号の設定を行いま す。	LIVE 信号/a 接点/ b 接点
6	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW
\bigcirc	出力機能切り換え	出力機能の動作切り換えを行います。	エラー出カ/ 警報出力

<u>4.8.5.</u> 子局[SWL90-PL3] (子局) 個別設定画面 (トランジェント通信)

	🖳 個別	則設定			
	1	子局番号	子局1		
	$\overline{\mathbf{n}}$	ユニットタイプ	SWL90-PL3(子局)		
2		▶ 動作		通常局	-
3		無線送信間	隔(分:秒)	01:00	
(4)		無線タイムア	ウト時間(分)	0	
(5)		無線出力電	נ ל ו	20mW	
		電池駆動メ	ッシュ方式	起動時メッシュ	-
			ОК	キャンセル	

No.	名称	内容	設定範囲
1	子局動作	子局の動作についての設定を行います。 通常の使用局は通常局、中継専用局は中継局、将来追加 予定の場合は予約局と設定します。	通常局/予約局
2	無線送信間隔 (分:秒)	子局から親局へ無線送信を行う周期を設定します。	00:30~99:59
3	無線タイムアウト時間	無線通信でのエラー発生タイムアウト時間の設定を行い ます。 0.0の場合は自動計算となります。	0~250(秒)
4	無線出力電力	無線通信を行う送信出力の設定を行います。	1mW/10mW/20mW
5	電池駆動メッシュ 方式	 無線通信トポロジ:メッシュ を選択時のみ設定できるパラメータ。 起動時メッシュ:ユニット起動時にルートを決定し その後は固定 動的メッシュ:ルートが周囲の環境により自動で 切り替わる。 (注)雷池の消耗が早くなります。 	起動時メッシュ/ 動的メッシュ

ユーティリティで設定された内容をもとにデバイスの使用状況及び割り付けを視覚的に表示します。



デバイス割り付け一覧画面

No.	名称	内容	設定範囲
1	データ切り替えタグ	デバイス割り付け一覧画面に表示するデータを切り替え ます。	-
2	開始アドレス	領域を使用する先頭アドレスを表示します。	-
3	使用アドレス	デバイスの使用領域を表示します。	-
4	デバイス使用状況	デバイスの使用する(占有する)範囲を表示します。	-
5	デバイス使用詳細	デバイスを使用している項目等の詳細内容を表示しま す。	-
6	デバイス割り付け 書き出しボタン	デバイス使用詳細の内容をCSVファイルで書き出します。 書き出し内容は現在表示中のデータとなります。	-

メイン画面でパラメータ名称を右クリックすることで、ヘルプ画面を開くことができます。 パラメータの詳細説明を参照でき、マニュアルレスでのパラメータ設定が可能になります。

ヘルプウインドウを開く手順

(1) パラメータ名称を右クリック

子局番号親局子局1ユニット名称(ラベル)R4ML_1シERIALイユニット名称(ラベル)親局ユニットIDパラメータ名み クリック 例:ユニットタイプロ別設定「御田室ビット点数情報16ワード点数情報0Ethernet設定Ethernet設定			
ユニット名和(ラベル) 親局 子局1 ユニット名称(ラベル) 親局 子局1 ユニットID パラメータ名称を 右クリック 例:ユニットタイプ 中継局兼子局) 値別設定 個別設定 印録度2 ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定 Ethernet設定	子局番号	親局	子局1
SERIAL ユニット名称(ラベル) 親局 子局1 ユニットID パラメータ名称を 右クリック 例:ユニットタイプ 中継局兼子局) 個別設定 個別設定 (個別設定 ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定 Ethernet設定	ユニット名		R4ML_1
ユニット名称(ラベル) 親局 子局1 ユニットD パラメータ名ホを 右クリック 例:ユニットタイプ 中継局兼子局) 個別設定 個別設定 回別設定 ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定 Ethernet設定	SERIAL		
ユニットID パラメータ名称を 右クリック 例:ユニットタイプ 中継局兼子局) 個別設定 個別設定 中継局兼子局) ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定	ユニット名称(ラベル)	親局	子局1
ユニットタイプ 石グリッグ 例:ユニットタイプ 中継局兼子局) ど 個別設定 (個別設定 (個別設定 ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定	בבארום	パラメータ名	称を
個別設定 個別設定 個別設定 ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定 Ethernet設定	ユニットタイプ	ロクリック 例:ユニッ	トタイプ (中継局兼子局) 🗠
ビット点数情報 16 16 ワード点数情報 0 0 Ethernet設定 Ethernet設定 Ethernet設定	個別設定	個別設定	個別設定
ワード点数情報00Ethernet設定Ethernet設定	ビット点数情報	16	16
Ethernet設定 Ethernet設定	ワード点数情報	0	0
	Ethernet設定	Ethernet設定	

※一部のパラメータはヘルプを表示できません。

(2)「ヘルプを開く」クリック

子局番号	親局	子局1	
ユニット名		R4ML_1	
SERIAL			
ユニット名称(ラベル)	親局	子局1	
ユニットID		「ヘルプを開く」を 左クリック	
ユニットタイプ ヘル	プを開く	Ľ	
ユニットタイプ ヘル 個別設定	で開く 個別設定	個別設定	
ユニットタイプ 個別設定 ビット点数情報	プを開く 個別設定 16	(個別設定) 16	
ユニットタイプ 個別設定 ビット点数情報 ワード点数情報	プを開く (個別)設定 16 0	個別設定 16 0	

(3) ヘルプウインドウが開きパラメータの詳細を参照できる。



補足

ツールバーからもヘルプ画面の起動が可能です。

	ツールバーから	
骎 SWL-UT3 パージョン4.0.0	「パラメータのペルク」]
ファイル(F) へルプ(H) ツール(T)		
無線機へ パラメーターのヘルプ(H)	アイルから読出ファイルへ書込	
バージョン表示(V)		
共通設定 マニュアル	•	
グループNa 0 〜 無線通信構成	ポーリング通信(経路情報なし) 〜 湯	劉沢周波数 33 ~
再送回数 2 🚔		

<u>4.11.1.</u> 無線配信で子局の無線パラメータ(周波数、グループ、通信トポロジ)を変更する手順

以下既存システムの周波数を33から34に変更します。



- (1) 親局からパラメータを読出します。
- (2)設定ユーティリティで共通設定の選択周波数を「34」に設定して、親局に書込みます。親局の周波数は「34」に変更されます。



- (3) 設定ユーティリティから親局経由で子局に無線送信します。
- (4)子局に無線配信する為、一時的に親局の周波数を「33」に変更して子局と無線通信を確立します。 子局へ無線送信完了後に、親局の周波数は「34」に戻り、子局の周波数は「34」に変更されます。

無線で設定を送信する詳細内容を選択します。 ①設定を送信する子局を選択します。 設定を送信する子局番号を設定してください。 複数の子局を送信する場合、「1.3.6」のようにカンマで区切るか 「1-6」のようにハイフンで範囲を指定してください。	皮数を変更したい子局を選択します。
子局番号: 1.2	
 ②設定を送信する無線パラメータを選択します。 周波数チャネル	 子局と通信する為、 一時的に周波数を「34」→「33」 に変更。 子局へ無線送信完了後、 親局の周波数は「34」に戻り、 子局周波数は「33」→「34」に切り替わる。
通信テスト 書込み開始 キャンセル	
周波数: <u>34 ⇒ 一時的に33</u> ⇒ 34 グループ:0 トポロジ:ツリー 親局 無線送信 シ	
周波数:33→34 グルーブ:0 トポロジ:ツリー 子局1	周波数:33→34 グループ:0 トポロジ:ツリー 子局2

<u>4.11.2.</u> 接続 COM ポート確認手順

・Windows7 編

「スタート」⇒「コントロールパネル」より、「デバイスマネージャー」を起動します。
 (カテゴリ表示の場合、「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「ハードウェアとサウンド」より
 「デバイスマネージャー」を起動します。)

	パネル 🕨 すべてのコントロール パネル項目 🕨		- 4	, ארעב אין אין
コンピューターの設定を調整し	ます		表示方法: 大きいアイ	ב× ≺⊏
Flash Player	Java	Realtek HD オーディオマネー ¹⁷	-ジ NemoteApp とデスクトップ接続	
💐 Windows Anytime Up	grade Windows CardSpace	Windows Defender	Windows Live の言語設定	
Windows Update	Windows ファイアウォール	🌾 アクション センター		
🚕 インデックスのオプ	│「デバイスマネージャー ジ│を選択。	- 」 🚱 コンピューターの簡単操作セン	^{ンタ} 🕑 サウンド	
💐 ७२७४	タスクバーと [スタート] メニ: ー	- 💐 F12JU1	🛒 デスクトップ ガジェット	E
🍶 इार्ष्य रुके-छरु-	デバイスとプリンター	トラブルシューティング	糞 ネットワークと共有センター	
📗 ಚರಿಹಿಂದ	ジャングアップと復元	パフォーマンスの情報とツール	レ 🦉 フォルダー オプション	
フォント	プログラムと機能	📢 ホームグループ	🧷 रनंत्र	
🎎 ユーザー アカウント	◎ 位置センサーとその他のセンサ	- 日本記識	na 🖉 📲	
管理ツール		🥰 個人設定	資格情報マネージャー	
		<u>A</u>		-

コントロールパネル

2. 「ポート(COM と LPT)」にある「CDC USB for Utility」の後に記載されている COM 番号をご確認ください。



COM ポートの確認

•Windows10 編

(1)「スタート」⇒「コントロールパネル」より、「デバイスマネージャー」を起動します。
 (カテゴリ表示の場合、「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「ハードウェアとサウンド」より
 「デバイスマネージャー」を起動します。)



(2)「ポート(COMとLPT)」にある「USBシリアルデバイス」の後に記載されている COM 番号をご確認ください。





(3)「USB シリアルデバイス(COM)」で右クリック⇒「プロパティ」を開きます

「詳細」をクリックします。

📇 デバイス マネージャー

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルブ	(H)	
	k X ⊕	USB シリアル デパイス (COM4)のプロパティ
 ▼ ▲ X90C417350	/トロ−ラ− ₹	全般 ボートの設定 ドライバー 詳細 イベント USB シリアル デバイス (COM4) デバイスの確想: ボート (COM と LPT) 製造元: Microsoft 場所: Port_#0001.Hub_#0001 デバイスの状態 [0 デバイスは正常に動作しています。
 Intel(R) Active Managem USB シリアルデパイス(C) マウスとそのほかのポインティン モニター モニター ユニパーサル シリアル パスコン 回 印刷キュー 記憶域コントローラー 	ent Technology - SOL (COM3) ドライパー ソフトウェアの更新(P) 無効(D) 削除(U) ハードウェア変更のスキャン(A) プロパティ(R)	ОК 4 #У±И

(4) プロパティ「ハードウェア ID」を選択します。

「値(V)」を確認して、下記の表示であることを確認してください。

USB シリアル デバイス (COM4)のプロパティ	×	
全般 ポートの設定 ドライバー 詳細 イベント		
USB シリアル デバイス (COM4)		
プロパティ(P)	USB シリアル デバイス (COM4)のプロパティ	×
	全般 ポートの設定 ドライバー 詳細 イベント	
1. (アノス) / (アノス) 1. (アノス) / (アノス) 1. (P) 1.	USB シリアル デバイス (COM4)	
間 超 コード 構成フラグ クラス	プロパティ(P)	
クラス GUID Inf 名	ハードウェア ID	~
	<u>值(V)</u>	
プロパイダー	USB¥VID_28C3&PID_0001&REV_0400	
Inf セクション Inf セクション拡張	USB¥VID_28C3&PID_0001	
一致するデバイス ID		
サービス		
BIOSデバイス名 /3/64473/1.2/4/1.40b1.9803-e0903cb649123[10]		
{3464f7a4-2444-40b1-980a-e0903cb6d912}[14]		
{80497100-8c73-48b9-aad9-ce387e19c56e}[6]		
PFUX		
インストール日付 インストール状態	(thus	
コンテナー ID	1直(V)	
テバイス スタック ドライバー キー		00
ドライバーノードの厳密な名前	USB#VID_28C3&PID_0001&REV_04	00
ドライバーの説明	USB¥VID 28C3&PID 0001	

<u>4.11.3. ドライバの手動インストール</u>

パソコンに無線ユニット設定ユーティリティ用のドライバをインストールします。

- 「スタート」⇒「コントロールパネル」より、「デバイスマネージャー」を選択します。
 (コントロールパネルがカテゴリ表示の場合、「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「ハードウェアと
 - サウンド」より「デバイスマネージャー」を起動してください。)

				• ×
🕒 🖉 🖓 🖓 🖓 🖓 🖓	/ ▶ すべてのコントロール パネル頃目 ▶			ho)
コンピューターの設定を調整します			表示方法:大きいアイコン 🔻	
Flash Player	Java	Realtek HD オーディオマネー ヤ	ジ RemoteApp とデスクトップ接続	
Windows Anytime Upgrade	Windows CardSpace	Windows Defender	Windows Live の言語設定	
Windows Update		アクション センター		
🚕 インデックスのオプション	「デバイスマネージャー」 を選択。	」 ひどューターの簡単操作セン	לעליד 🕑 איליד	
💐 >775	タスク バーと [スタート] メニュ	- - - - 	🙀 デスクトップ ガジェット	
J. 7/12 77-37-	デバイスとプリンター	▶ ▶ ヺブルシューティング	🂐 ネットワークと共有センター	
はじめに	バックアップと復元	「フォーマンスの情報とツール	, 🧗 フォルダー オプション	
フォント	同 プログラムと機能	📢 ホームグループ	🕜 حرفته	
🎎 ユーザー アカウント	位置センサーとその他のセンサー	- 🕞 音声認識	n 🕵 🛛	
管理ツール		個人設定	資格情報マネージャー	

コントロールパネル

 2. 「ほかのデバイス」にある「CDC USB Demonstration」を右クリックし、「ドライバソフトウェアの更新」を 選択します。



デバイスマネージャー

5. ダウンロードした「SWLStartUP」フォルダ内の、「Driver」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。

フォルダーの参照	x
ハードウェアのドライバーを含むフォルダーを選んでください。	
SWL31_マニュアル SWLStartUp Driver ▶ W Ver1_8J_Rev18	*
フォルダー(F): Driver	
OK	211

ドライバソフトウェアの更新3

6.「次へ」をクリックします。

- 8 - 4 2 8 5	×
🚱 🗕 ドライバー ソフトウェアの更新 - CDC USB Demonstration	
コンピューター上のドライバー ソフトウェアを参照します。	
次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:	
C:¥Users¥a070040¥Desktop¥SWLStartUp¥Driver ▼ 参照(R)	
☑ サブフォルダーも検索する(I)	
→ コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します(L) この一覧には、デバイスと互換性があるインストールされたドライバー ソフトウェア と、デバイスと同じカテゴリにあるすべてのドライバー ソフトウェアが表示されます。	- クリック
次へ(N) キャン	ンセル

ドライバソフトウェアの更新4
7. 以下のような警告ダイアログが表示される場合がありますが、「はい」ボタンをクリックします。



ドライバ更新警告



Windows セキュリティ警告

8. ドライバソフトウェアのインストールが開始します

インストールが完了するまでしばらくお待ちください。

	X
○ ◎ ドライバー ソフトウェアの更新 - CDC USB Demonstration	
ドライバー ソフトウェアをインストールしています	

ドライバインストール

9. ドライバのインストールが正常に完了した場合、以下のような画面が表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックします。

	1	
🕞 🗋 ドライバー ソフトウェアの更新 - CDC USB for Utility (COM8)		
ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。		
このデバイスのドライバー ソフトウェアのインストールを終了しました:		
CDC USB for Utility		
		「閉じる」 をクリック。
<u>閉じる(C)</u>		

ドライバインストール完了

10. ドライバのインストールが完了いたしましたら、「デバイスマネージャー」の「ほかのデバイス」項目

(又は「ほかのデバイス」項目内の「CDC USB Demonstration」)が消え、「ポート(COMとLPT)」に「CDC USB for Utility」が表示されていることをご確認ください。

(CDC USB for Utility のポート番号は通信確認などで使用いたしますので、ポート番号を控えておくことを お勧めします。)



ドライバインストール確認

以上でドライバのインストールは完了です。

<u>4.11.4. ドライバをインストールできない場合のセキュリティ解除方法(Windows10)</u>

Windows10は、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、 通常はできないようになっています。ドライバのインストール/更新/再インストールするときは、 一時的に解除する必要があります。

(1) スタートメニューから「設定」を選びます。



(2) 「更新とセキュリティ」を選びます。



(3) 「回復」を選びます。

「今すぐ再起動する」を選びます。

☆ 設定	
ॐ π−ム	回復
設定の検索 🔎	この PC を初期状態に戻す
更新とセキュリティ 〇 Windows Update	PC が正常に動作していない場合は、初期状態に戻すと解決する場合があり ます。個人用のファイルを保持するか削除するかを選んでから Windows を再 インストールできます。 開始する
Windows Defender	
〒 バックアップ	PC の起動をカスタマイズする
∂ トラブルシューティング	デバイスまたはディスク (USB ドライブや DVD など) からの起動、PC のファーム ウェア設定の変更、Windows スタートアップ設定の変更、またはシステム イ メージからの Windows の復元を行います。この操作を行うと、PC が再起動
① 回復	Lat.
⊘ ライセンス認証	今すぐ再起動する
<u> </u>	
19 開発者向け	
$\mathcal{P}_{\mathbf{R}}$ Windows Insider Program	

- (4) 再起動後、「オプションの選択」画面が表示されます。
- 「トラブルシューティング」→「詳細オプション」→「スタートアップ設定」を選びます。

オプションの選択		
トラブルシューティング PC を初期状態に戻すか、詳細オブションを 表示します		
◎ トラブルシューティング		
ジニ		
⑥ 詳細オプション		
スタートアップ設定 Windows のスタートアップ動作を変更しま す		

(5) スタートアップ設定画面が表示されます。

「再起動」を選択します。



(6) 「7」ドライバー署名の強制を無効にする」を選択します。

(キーボードの「7」を押します)



(7) 再起動後、ドライバーのインストールを再度行ってください。※次回の起動時には通常の設定に戻っています。





第5章 トラブルシューティング

以下に動作異常の一覧を記載します。

接続選択	エラー内容	確認/対処方法
		・無線ユニットの電源は入っているか
		・Ethernetケーブルがささっているか
		・接続先選択がEthernetになっているか
	書込・読出ができない	・親局のIPアドレスと接続先選択のIPアドレスは一致しているか
		・他の機器とのIPアドレスの重複はないか
		・無線ユニットがパラメータ設定モードになっていないか
		・ユーティリティを2カ所以上から同時に書込・読出はしていないか
		・無線ユニットの電源は入っているか
	t 経由書込・読出ができない	・Ethernetケーブルがささっているか
		・接続先選択がEthernetになっているか
		・親局のIPアドレスと接続先選択のIPアドレスは一致しているか
Ethernet		・他の機器とのIPアドレスの重複はないか
		・無線ユニットがパラメータ設定モードになっていないか
		・親局と設定ユーティリティの設定は同じか
		→親局に設定を書き込んでから子局に書込・読出を行ってください
		・ユーティリティを2カ所以上から同時に書込・読出はしていないか
		・無線子局の電源は入っているか
		・周波数、グループ、通信トポロジは一致しているか
	経由書込・読出で通信結果失敗が表示される。	・通信可能な距離であるか
		→屋内:約100m(見通し) 屋外:約400m(見通し)
		・無線ユニットがパラメータ設定モートになっていないか
		・ルート設定を設定している于向の場合は、甲継ナ向の電源は入っているか
		→甲継ナ局に設定を書込みを行うしから、ナ局に書込みを行うしくたさい 無約===」の要項は3、ているい。
		・無線ユーツトの電源は入つているか
		・USBケーノルはささつしいるか
	書込・読出・Testの画面に遷移できない 書込・読出ができない	* 按枕尤迭状かUSBになつているか
		"トフイハーは豆球しているか 」『ドニノバーのノンフトール』たご会昭ノださい
		→2.11トワイハーのインストール』をこ 参照くたさい
		・USDハート毎方は止しいか →4 11 2『按結COMポート疎認手順』たご会昭/ださい
		→4.11.2』接続ししM小一「唯誌ナ順」をこう無くだとい。
		「無縁ユージトがハンノーン設定モートになっていないか。
		・USBケーブルけ報局にささっていろか
LISB	経由書込・読出ができない	・毎線コニットがパラメータ設定モードになっていないか
000		
		→ 朝島に設定をまき込んでから子島にまい・ 語出を行ってください
		・コーティリティを2カ所以上から同時に主込・読出はしていないか
	経由書込・読出で通信結果失敗が表示される。	・毎線子局の電源は入っているか
		・周波教、グループ、通信トポロジは一致しているか
		・通信可能な距離であるか
		→屋内:約100m(見通し) 屋外:約400m(見通し)
		・無線ユニットがパラメータ設定モードになっていないか
		・ルート設定を設定している子局の場合は、中継子局の電源は入っているか
		→中継子局に設定を書込みを行ってから、子局に書込みを行ってください
		 →屋内:約100m(見通し) 屋外:約400m(見通し) ・無線ユニットがパラメータ設定モードになっていないか ・ルート設定を設定している子局の場合は、中継子局の電源は入っているか →中継子局に設定を書込みを行ってから、子局に書込みを行ってください

<u>!!! 注意事項 !!!</u>

ユーティリティを使用して複数のパソコンから同時に下記の操作は行わないでください。 データが破損する場合があります。

・パラメータ書込

- ・パラメータ読出
- ・無線経由で子局へパラメータ書込・読出

<u>製品仕様の変更</u>

カタログ、仕様書、技術資料などに記載されている仕様は、お断りなしに変更することがあります。

製品の適用について

■使用条件

当社製品をご使用される場合は、万一、故障、不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途で あること、バックアップなどの対策が実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

- ■適用の除外など
 - (1)当社製品は、一般工業などへの用途を対象として設計・製造されています。原子力発電所およびその他発電 所、鉄道や航空などの公共交通機関といった公共への影響が大きい用途や車両設備医用機械、娯楽機械、安 全装置、焼却設備、および行政機関や個別業界の規制に従う設備への使用で、特別品質保証体制をご要求に なる用途には、適用を除外させていただきます。
 - (2) 人命や財産に大きな影響が予測され、安全面や制御システムにとくに高信頼性が要求される用途には適用を 除外させていただきます。
 - (3) ただし、上記の用途であっても、用途を限定して特別な品質をご要求にならないことをお客様にご承認いた だいた場合には、適用可能とさせていただきます。

<u>その他</u>

上記の記載内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

Ethernet は米国 Xerox Corporation の商標です。

MC プロトコルは MELSEC コミュニケーションプロトコルの略称です。

MELSEC は三菱電機株式会社の登録商標です。

.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



〒154-8520 東京都世田谷区太子堂 4-1-1(キャロットタワー20F)

お問い合わせは下記へどうぞ

北日本支社・・・・・・	〒983-0013	仙台市宮城野区中野 1-5-35 · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(022) 353-7814
北海道支店・・・・・	〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	(011) 890-7515
東京機電支社・・・・・	〒108-0022	東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X ビル 11 階・・・・・・	(03) 3454–5511
中部支社 · · · · · · · · ·	〒461-8675	名古屋市東区大幸南 1-1-9・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(052) 722-7602
北陸支店・・・・・	〒920-0811	金沢市小坂町北 255 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(076) 252-9519
関西支社・・・・・	〒531-0076	大阪市北区大淀中 1-4-13 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(06) 6454-0281
中四国支社 · · · · · · ·	〒732-0802	広島市南区大州 4-3-26 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(082) 285-2111
四国支店・・・・・	〒760-0072	高松市花園町 1-9-38・・・・・・・・・・・・・・・・・	(087) 831-3186
九州支社・・・・・	〒812-0007	福岡市博多区東比恵 3-12-16 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(092) 483-8208

電話技術相談窓口(仕様・取扱いの問い合わせ)

TEL (052)719–0605

平日 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

この印刷物は、2020年6月の発行です。なお、お断りなしに内容を変更することがありますのでご了承ください。

X903180801A

2020年6月作成

・許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。